

## 「コウノトリのまちから」 沖繩県への恩返し

昨年10月31日に焼失した首里城(沖繩県)の復元を支援するため、本市は庁舎に募金箱を設置するなど、広く市民から募金を受け付けています。

12月末までに寄せられた23万1200円を1月15日、(株)サンエー(宜野湾市)を通じて、沖繩県首里城復旧・復興支援募金活動事務局に寄付しました。

沖繩県は「コウノトリ育むお米」の最大の取引先です。米の消費でコウノトリ野生復帰を支える沖繩県に対する「コウノトリのまちからの恩返し」として、3月末まで募金を継続します。

《問合せ》農林水産課 ☎23-11127



▲11月1日から本庁舎1階の総合案内に設置された募金箱。各地域の庁舎にも設置中

## 「そぞろ歩き」を安全に 交通環境改善計画を策定へ

1月17日、城崎庁舎大会議室で、城崎温泉街の「交通環境改善の意見交換会」(主催・城崎温泉交通環境改善協議会)が開催されました。

昨年9月に実施された同温泉街での駐車抑制社会実験の検証結果と対策が報告された他、桃島バイパスの整備を見据えた交通環境改善計画の策定について、意見が交換されました。

同バイパスの整備と交通環境の改善を通して、同温泉街の安全な「そぞろ歩き」の実現を目指します。

《問合せ》建設課 ☎21-9007



▲地元町内会や事業者団体、兵庫県などの関係者ら約60人が参加

# 市政 ニュース

### 主な市政の動き

#### 〔1月〕

17日・市職員を対象とした状況予測型訓練(地震版)

21日・第2回「とよおか2020スポーツ実行委員会」  
「東京2020オリンピック」

「東京2020オリンピック」  
「東京2020オリンピック」  
「東京2020オリンピック」

「東京2020オリンピック」  
「東京2020オリンピック」  
「東京2020オリンピック」

「東京2020オリンピック」  
「東京2020オリンピック」  
「東京2020オリンピック」

26日・第66回「文化財防火デー」  
「防火訓練」

#### 〔2月〕

3日・第1回豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会

豊岡市内郵便局との包括的連携に関する協定  
新型コロナウイルス感染症症庁内連絡会議

5日・豊岡市外国人住民に関する調査報告会

9日・若い女性も住みたくなる豊岡をつくる「高校生ワークショップ」



### 奈佐小を五荘小に統合

#### 準備委員会を初開催

1月21日、五荘小学校会議室で、五荘小学校と奈佐小学校の統合に向けた第1回準備委員会が開催されました。

昨年12月、奈佐地区区長会長と奈佐小PTA会長が、統合要望書を市に提出。第1回委員会では、委員委嘱や役員選出の他、奈佐からの申し出で、奈佐小を五荘小に統合し、校名や校歌などは五荘小のものを使用することが決められました。今後は、来年4月の統合を目標に、交流事業の実施や通学方法、閉校に関する行事などについて協議が進められます。



▲委員長は奈佐地区区長会長の深山義行さん。委員は地区やPTAの代表、学校職員ら

《問合せ》教育総務課 ☎23-11117

### 広報とよおか

#### 県コンクールで入選

県と県広報協会が主催する、県内各市町の広報紙を対象にした第67回兵庫県広報コンクールで、広報とよおか10月号(9月25日発行)で第0回豊岡演劇祭を撮影した写真が、広報写真部門「組み写真の部」で入選しました。

同部門には県内17市町から応募があり、入選は上位2番目に当たります。審査講評で「舞台だけでなく会場周辺の様子を交え、イベントの熱気を伝えている。モノクロの良さもあるが、カラーでも見たいと思わせるところが惜しい」と評価されました。

《問合せ》秘書広報課 ☎21-9035



▲広報とよおか10月号2~3ページ「第0回豊岡演劇祭」

### 中貝市長の徒然日記 ⑬

#### インフル始末記

インフルエンザで自宅に5日間軟禁されました。発熱は、不覚にも成人式の前日。新成人にウイルスをまき散らすわけにはいきません。式典で代理を頼むことにしました。

が、しかし。ほくには、新成人に伝えたいことがありました。しかも、副市長は、前日の夜にあいさつのピンチヒッターを告げられ、重責に打ち震えているかもしれません。40度の熱の中、原稿を書くことにしました。

当日。最近、開会直前に約15分間、市の未来についてスライドを映しながら話すことから「予定していた市長の講話は、都合により取り止めさせていただきます」とアナウンスがあると、会場はざわめきました。餅をのどに詰めたのか？ドクターヘリで豊岡病院に運ばれたのか？様々な憶測が流れました(と思われる)。事態を重く見た副市長が、

あいさつの前に「市長は、インフルエンザです」と補足すると、「なあんだ」と会場がどつと沸きました。

伝えなかったメッセージです。「皆さんの多くは、高校や中学で私の授業を聞いたことがおありになると思いますが。その中で、豊岡は『小さな世界都市』を目指している、とお話しました。私たちは、今もその旗を掲げ、まちづくりを進めています。最後に、今は豊岡を離れている方々に一言申し上げたいと思います。故郷は、いつまでもこの地で、皆さんの故郷であり続けたいと願っています。いつか、きっと、帰っておいで」

副市長には、最後の部分を一言ずつ区切って読むように指示したのであります。

成人式より前に、ある高校の13人の卒業生が親子で集まり、前祝いをしたそうです。「市長、そのうち実に8人が、大学を卒業したら帰ってきたと言っていました。その場に居合わせた市の消防職員から聞きました。それは、何よりもうれしい報告でした。」